

ヤングケアラー支援に係る「校内研修パッケージ」

研修B「ヤングケアラーの早期発見の取組」

1 目的

- ・ヤングケアラーの早期発見や情報共有に資する取組について理解するとともに、自校における児童生徒理解及び情報共有の取組について考える。

2 研修対象者（例）

- ・学年主任、教育相談コーディネーター（または教育相談を担当する教員） 等

3 資料 ※道教委Webページで公開しています

- ・学校・教育委員会におけるヤングケアラー支援のためのガイドライン（以下、「ガイドライン」）
- ・アセスメントシート
- ・教職員向け資料「ヤングケアラーに気付くために」

4 研修略案（個別研修の場合は、「内容」欄に記載内容を参考に研修をしてください。）

	内容	備考
導入	○研修の目的の共有 ※研修の目的を全体で確認しましょう。	〔2分〕 ・「1 目的」を参照
説明 ・ 協議	○説明（動画の視聴） 「3 資料」を手元において視聴しましょう。 ○協議 <協議のポイント> ① 自校における児童生徒の状況を把握し、共有化する取組 ② 自校の教育相談体制や児童生徒への接し方を共通理解する取組 ③ ①②を踏まえ、今後自校でできる取組	〔15分〕 ※説明動画は約7分 ※動画の視聴まで個別で行い、協議のみ集合で行うことも可
まとめ	○自校における今後の取組 ※協議での意見を踏まえ、今後学校で取り組むことや取り組めそうなことを整理しましょう。	〔3分〕 ※意見を個々に記述し、まとめた内容を共有することも可

5 留意事項

- ・協議においては、新たな取組を考えるのではなく、現在、児童生徒の様子を把握するために自校で取り組んでいることを振り返りましょう。
- ・協議してまとめた内容は、学年団の学級担任、教科担任等、児童生徒と日常的に接する教職員と共通理解を図りましょう。

6 アンケートや質問の入力

- ・次のURLから、研修後のアンケートに回答願います。質問がある場合も受け付けています。
- ・研修を受講した方のうち代表者1名が、研修実施後、1週間以内に入力願います。

URL <https://forms.gle/45Uk3jjSRVxxYTM5>

